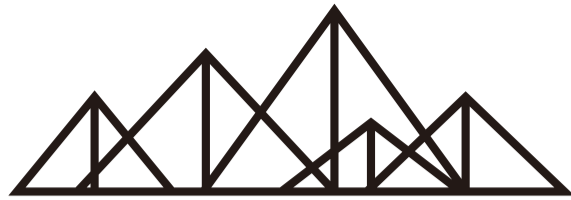


Vol.03



Take Free ¥0

赤城山観光情報紙

A K A G I F T

AUTUMN / WINTER 2018



特集

赤城山に歴史深き温泉あり

赤城大沼ワカサギ守り人

週末3時間限定 薪窯で焼く天然酵母のパン屋さん
ワンネス 桐生店

デンさんの てんでいい話。
『植物の頭脳プレー』に想いを馳せる

週末、東京から**2時間**の里山環境リゾート **赤城山**

赤城山に 歴史深き 温泉あり

赤城温泉の名湯はいかに守られてきたのか



古くから「上州の薬湯」として知られ、数々の歴史上の人物や文学者などからも愛されてきた赤城温泉。長い温泉郷の歴史の中で、一時衰退することもあったが、現在まで幾度となく復活を遂げてきたのには、温泉を受け継ぎ、守り抜いてきた「湯守人」の情熱がそこにあった。



御宿総本家の裏手に鎮座する湯の沢薬師地蔵

開湯伝承は、古墳時代にまで遡る赤城温泉の歴史。奈良時代の書物には「赤城山に霊泉あり、傷病の禽獸集まる」とその効能を示す記述が残っている。また、御宿総本家の裏山にあり、赤城温泉の守護仏として祀られている石像「湯の沢薬師地蔵」(前橋市指定文化財)は、応仁元年(1467年)に作られたもので、温泉の存在を物語る貴重な文化財のひとつとなっている。

赤城山は、かつてより山岳宗教の霊山であった。たくさんの修験者があり、熊や鹿が湧泉に入り傷を癒すのを見て、自らも傷を癒すために入ったのがこの地の温泉の始まりといわれている。修験者たちは、その効能を知り、里人に教えた。それにより、赤城温泉は「上州の薬湯」として広く知れ渡ることとなった。そうすることで修験者は里人から信心を得、そして崇められたという。



幾多の困難を乗り越え、
現代に受け継がれる赤城温泉。



御宿 総本家 17代当主
#5 東宮 惇允さん・雅子さん
Atsuyoshi Tomiya / Masako

中学から市外で過ごし、昭和58年から赤城に戻って第17代当主となる。現在、72歳。宿に所狭しと並ぶ民芸品は、アジアやアフリカのもものが中心。最近ではピザ釜を自作。

赤城温泉は、かつて湯之澤温泉と呼ばれていた。明治時代に描かれた温泉絵図にもそのように記述されている。全国的に湯之澤温泉という名の温泉地は非常に多く、赤城温泉も同様であった。ただし、すでに江戸時代に書かれた文献にも「上州赤城温泉」と書かれたものもある。そう話してくれたのは、御宿総本家のご主人・東宮惇允さん。赤城温泉を深く広く知る希有な語り部だ。宿には、赤城温泉の歴史を語る上で、貴重な資料が多数保管されている。「これは、元禄6年(1693年)2月に書かれた議定書だよ」と奥から持ってきてくれたのは、畳3畳ほどもありそうな古地図。赤城温泉の場所に「湯本」とたしかに表記されている。

営業を開始するきっかけとなったのは、元禄元年(1688年)に前橋藩主が領内検地のために苗ヶ島村を訪れたことによる。当時、殿様が宿泊できるのは、寺院以外に、それが金剛寺であった。その際、苗ヶ島村の名主たちが温泉場の経営を願い出たのがはじまりである。翌年、温泉の営業は許可される。また、「前橋藩が困窮者のために、慈善事業として『大泉湯』という湯小屋を建てたんですよ」と話す惇允さん。営業を開始して間もなく三夜沢赤城神社神官が「温泉場は神領である。苗ヶ島の住民が勝手に湯宿を運営し始めた」という訴えを起こすことになる。しかしながら元禄5年(1692年)に、幕府より裁定が下され、退けられた。

「その後、7度の火災にあった」と話す惇允さん。7度の火災とは驚きだが、事の経緯はこうだ。水不足問題などの天災が起きるごとに、里山に住む人は山麓で薪炭用に木を切る炭屋や、温泉業に反感を持ったのだ。惇允さんは「水不足の問題は藩に訴えてもどうにもならなかったから、温泉経営者に責任が向けられて、放火へとつながっていった」と言う。

「雪深い温泉地では冬になると、湯守と呼ばれる留守番、いわゆる建物の管理人だけを残り、宿主は里に下って暮らしていた。そんな時に、火をかけられたことがたびたびあった」のだから、天明6年(1786年)から明治にかけての出来事だった。

幾多の困難を切り抜けて、その都度再建され、現在に至るのは、赤城温泉が名湯である証なのかもしれない。そして現在の赤城温泉も、良い意味でかつての名残をそのままにとどめた静かな温泉郷である。売店や飲み屋が一切ない代わりに、四季折々の大自然が何よりの心の保養だ。情報をシャットアウトして静けさと向き合い、身体の芯までゆっくりとほぐすにはもってこいの温泉地だ。



赤城温泉を 旅の目的にしてもらえそうな 最高のおもてなしをしたい。

「カミさんがうちに入ることが、先代からホテルを継ぐための絶対条件でした」と話すのは、赤城温泉ホテル第10代当主の東宮秀樹さんだ。「結婚当初、主人は群馬県内で別の仕事をしていたので、私が先に旅館業に専念しました」と、奥様の香織さん。ご主人の秀樹さんが退職するまでの6年間、育児をしながらひとつひとつ仕事を覚えていったという。創業は元禄13年(1700年)、歴史ある旅館業務に、重責を感じなかったかとたずねると、「クヨクヨ考えても仕方ないから私らしくやりました」とカラッとした笑顔を見せる。

現在の赤城温泉ホテルをはじめたのは、秀樹さんの祖父にあたる欽一さんだった。ちょうどその頃は、旅館業を一旦廃業していて、農業を営んでいたという。

「祖父は戦争に行かなかったため、戦争に行った気になって温泉を掘ったら本当に出たんだとか」と秀樹さん。「本家でもある御宿総本家のおじいさんと一緒に掘ったので、ちょうど半分ずつ温泉の権利を共有して、旅館業を再開することになったようです」と続ける。

赤城温泉の湯は、湧出時は無色透明なのだが、空気に触れると酸化して茶褐色のような色になる。それが「にごり湯」としてお客様から評判を呼んでいる所以でもあるが、成分が凝固して付着するため、湯船の配管には定期的なメンテナンスが重要だ。

「年に2回程度、1日かけて従業員を含めて5、6人で配管を全部外して、ゴムハンマーなどで叩いて凝固化した成分を丁寧に取除きます。詰まらないようにする薬剤があるのですが、自然湧出する天然温泉を昔と変わらず堪能してほしいので、あえて使っていません。昔から来てくださるお客様のためにも、手間暇を惜しまないでやっていこうと思っています」。

時代とともにお客様のニーズも多様に変化する。源泉かけ流し寝湯付き客室のある別館を建設したのも、夫婦二人で熟慮を重ねてのことだ。香織さん曰く「宿泊してくださるお客様には、スタッフが布



赤城温泉の特徴

泉質 カルシウム・ナトリウム・マグネシウム炭酸水素塩泉

色 源泉湧出時は、無色透明。空気に触れると茶褐色にごり湯に変化する。

江戸時代

●元禄2年(1689年)、温泉業を許可され、営業を開始する。その後、昭和30年代以降に赤城温泉と改称した。

室町時代

●応仁元年(1467年)、応仁の乱が勃発した年に、赤城温泉の守護仏である「薬師尊石像(湯の沢薬師地蔵)」が建立される。

鎌倉時代

●元亨四年(1324年)、赤城山の修験者である赤城了需の足跡を物語る「宿の平(現在の忠治館のある場所)の宝塔(忠治の赤城塔)」が造立される。のちに、大前田町の世良田薬師や三夜沢町の赤城神社などにも、この塔が造立される。

奈良時代

●「赤城山に霊泉あり、傷病の禽獣集まる」と奈良時代の書物に紹介される。

古墳時代

●諸説あるが、崇神天皇の第一皇子、豊城入彦命の開湯とされる。東国の治定にあたったとされ、上毛野氏の始祖とされる人物。

赤城温泉の年表

実行アロフィール
#6 赤城温泉ホテル
東宮 秀樹さん・香織さん
Hideki Tomiya / Kaori

赤城温泉ホテル 第10代当主・赤城温泉観光協同組合 組合長。群馬県温泉アドバイザー養成研修課程修了。



団の上げ下げなどでお部屋に入ること、気を遣わせてしまうので、そこをなんとか工夫したかった」。別館はローベッドや、ゆったりと食事ができる空間を設け、極力お客様のプライベートな時間を邪魔しない造りや導線考えた。2016年には本館5階もリニューアル、ローベッドを導入した。

今後の目標をご主人にたずねると、「今は、埼玉、東京、遠く新潟からお客様がインターネットなどで宿を知って足を運んでくれます。この赤城温泉でのんびり骨休めすることが最大の旅の目的となるように、心のこもったおもてなしをしていきたいですね」と力強く語ってくれた。

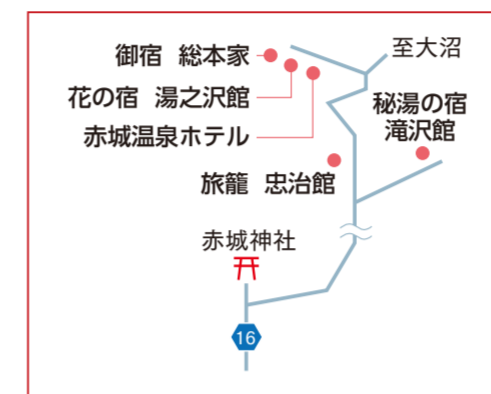


にごり湯の宿 赤城温泉ホテル

前橋市苗ヶ島町2031 TEL.027-283-2619

個性豊かな 赤城温泉の宿へ 行ってみよう。

赤城温泉観光協同組合に所属する
個性的な宿をご紹介します。



赤城温泉観光協同組合
http://www.akg5.jp



御宿 総本家

前橋市苗ヶ島町2034 TEL.027-283-3012



多国籍な民芸品が随所に飾られており、摩訶不思議な空気が漂う個性的なお宿。露天風呂は時間で貸し切りができるので、極上の赤城の天然温泉をゆっくり堪能できる。



花の宿 湯之沢館

前橋市苗ヶ島町2027 TEL.027-283-3017



与謝野鉄幹や高村光太郎などの文人たちも訪れた記録が残る、明治13年創業の源泉掛け流しの赤城温泉が楽しめるお宿。渓流のせせらぎを聴きながら望む露天風呂からの絶景は格別だ。



旅籠 忠治館

前橋市苗ヶ島町2036 TEL.027-283-3015



まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような趣ある民家作りのお宿。土間や囲炉裏など風情あふれる空間。男性露天風呂から眺める「朝日の滝」は、一見の価値ありの迫力だ。



滝沢温泉 秘湯の宿 滝沢館

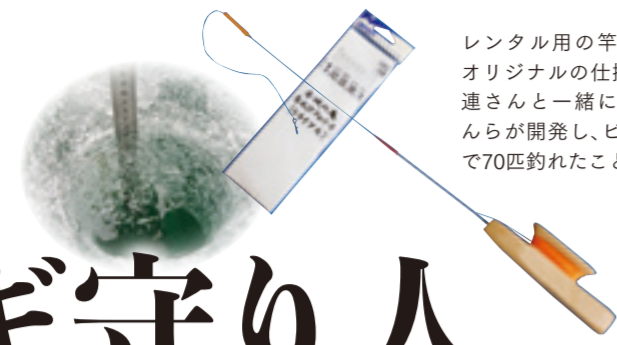
前橋市粕川町室沢滝沢241 TEL.027-283-5711



赤城南面の中腹にあり、粕川の渓流を望める絶景が自慢。川のほとりには野趣あふれる露天風呂がある。源泉掛け流しの冷泉あり。「日本秘湯を守る会」会員のお宿。



赤城大沼 ワカサギ守り人



レンタル用の竿と赤城オリジナルの仕掛け。常連さんと一緒に青木さんが開発し、ビギナーで70匹釣れたことも。



実り人プロフィール
#8 塩原 弘隆さん
Hirofumi Shiobara

食事・貸しボートやワカサギ釣りレンタルなどを取り扱う「パンディ塩原」の若旦那。赤城に戻ってきて約10年、AKAGIやる気塾の若手メンバーのひとりでもある。

編集委員

今日は赤城大沼のワカサギについて赤城大沼漁業協同組合のお二人にお話をいろいろ伺います。

ワカサギ釣りは、赤城山頂の観光のメイン。シーズン中は、ツイッターなどのSNSで釣果を毎日アップするだけで、それをチェックして来てくれる人やリピーターが確実に増えましたね。今は、シーズン中だけではなく、ワカサギの稚魚の育成のことも発信して、関心を持ってもらうように努力しています。

稚魚の育成という、具体的にはどんな？

4月下旬から5月中旬にかけて人工ふ化装置で育てます。最初は黄色だった卵が入った装置内が、1週間から10日前後で発眼といって、黒くて小さなワカサギの眼が出てきます。その間、毎日の消毒と循環が重要な作業になります。赤城大沼漁業協同組合の組合員8名が当番制で行っています。

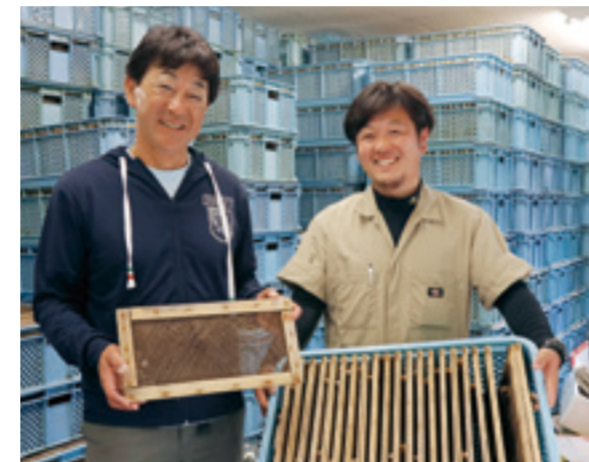
ふ化装置を導入してどのくらいになりますか？

15年ほど前です。導入にあたっては、ワカサギの人工ふ化を先駆けて行っていた芦ノ湖の漁業組合まで何度も足を運びましたね。もちろん、自然相手のことですから、機械さえ導入すればいいというわけではなく、赤城大沼に合った育成方法を模索しながらやってきました。近

年では安定してワカサギのふ化に成功しています。それから卵は、北海道の西網走の漁協や諏訪湖から仕入れてます。今年は、昨年の10倍の1億粒を用意しましたよ！

1億!!

すべてがふ化できるわけではありませんし、年によっても違いますが、今年のワカサギ釣り、ぜひ期待してくださいね。



ふ化した稚魚はどうしているんですか？

人工ふ化装置から大沼まで配管が通っていますので、そこを稚魚が通って湖へ出て行きます。ただ、すべてを人工ふ化装置だけに頼るのではなく、リスク回避の意味で棧橋に網をつけて自然ふ化も行っています。

両方の作業となると、より大変ですね。

そうですね。後継者がいなくてやめたところも県内にはいくつかあります。でも、全国的に見ると新たにはじめたところもあって、釣りポイントは増えているんです。だから卵の仕入れと確保がなかなか大変なんです。すよ。

赤城大沼で育ったワカサギは、どんな特徴があるんですか？

ワカサギのエサになるプランクトンが豊富な環境で、かつ水温が低いので、身が締まっているんです。平均10cm、大きいのだと12cmにもなるので、食べ応えも十分にあります。他の湖で経験している人はその大きさに驚く人も多いんです。味は日本一だと自負しています！

ワカサギ釣り、難しくありませんか？

特に氷上ワカサギ釣りは、女性客や家族連れにも人気が高いんです。自分で釣った魚をその場で調理してもらって食べるというのは何にも代えがたい楽しみなんじゃないかな。それに、女性客やお子さんのほうが、意外と釣果が良かったりするんです。

なぜでしょうか？

ワカサギ釣りには基本のリズムがあって、「クイックイックイック」とリズムをつかんで3回引いたら、少し止める。これをとっても素直にやるからなのかもしれないね。



なるほど、釣りへの先入観がないほうが良いわけですね。

そういうことですね。ただ、イメージすることも大事なことです。エサにバツとワカサギが食いつくのをイメージして、アタリを逃さないように。

面白そう！やってみたくなってきました。

そうですね！たとえば100匹釣れても万が一釣れなくても、「またやってみよう！」と来てくれるお客さん、非常に多いんですよ。こちらも必ず楽しんでもらえるように、努力してます。釣り場ポイントの案内や釣り方の指導はもちろん、釣れた時は、大きくNICE!!と声をかけたり(笑)

冬のワカサギ釣りというと、寒さが心配ですが？

朝はマイナス10度くらいですが、日中はマイナス4度くらいです。何よりかたつむり型のドームは暖かいんですよ。さほど心配はいりません。朝が一番おすすめで、昼くらいでも、最近は釣れる時もあります。午前中が狙い目です。時期は解禁早々の1月から2月上旬がおすすめ、春先に向かうとだんだん「しぶく」なります。

“しぶくなる”？

食いつきが悪くなるってことです(笑)。

なるほど！まずは、自分がワカサギに食いつきたいと思えます！来る今シーズンにむけてイメトレします！ありがとうございました。

赤城大沼で釣ったワカサギの天ぷら。サクサクとした食感で、食べ応えも十分。



実り人プロフィール
#7 青木 猛さん
Takeshi Aoki

赤城山頂で食事・貸しボートやワカサギ釣りレンタルなどを取り扱う「青木別館」オーナーで、AKAGIやる気塾の塾長でもある。かつてはアルペンスキーの選手で、コーチとしての指導経験も。

赤城大沼漁業協同組合
TEL.027-287-8511

おいしい赤城大沼のワカサギが育つまで。

赤城大沼漁業協同組合の皆さんの尽力と、ワカサギの人工ふ化装置稼働により、赤城大沼では毎年たくさんのワカサギが育っています。



週末3時間限定 薪窯で焼く天然酵母のパン屋さん



朝の3時に起きて、窯に火を入れ、あたためること2時間。温度を700度～800度まで上げる。そこから50分かけてじっくりと焼き上げるワネスのライ麦パン。ドイツ産のライ麦と赤城のわき水で仕込み、自家製の天然酵母で約16時間かけてじっくりと発酵させる。1日半から2日かけてつくるハード系食事パン。「じっくりと時間をかけて作れば作るほど日持ちも良い」というご主人。高温でない、常温で5、6日OK、冷凍でもそのおいしさを損なわない。「トースターやオーブンで焼くより、フライパンにバターやオリーブオイルを入れて焼くと、水分が飛ばずにパサつかず、オス

スメ」と教えてくれた。店舗兼自宅には、自ら組み立てた石窯が全部で4台ある。ドイツ製やフランス製など特徴が違う石窯で、パンの種類によって焼き分ける。その石窯に使う薪はもちろん、全粒粉パンは、小麦までも「自家製」だ。「手間暇かける」という言葉では言い尽くせないほどのパン作りへの様々なこだわりが、ワネスのパンには込められている。

クリスマス時期は、シュトーレンがお目見えする。香りの良い「ヤマザクラ」を薪にして焼き上げるので、冬限定のおいしさが楽しめる。今年のクリスマスは、「贅沢なパン」というご褒美を自分自身に予約してみたいか。

ワネス 桐生店

桐生市新里町157-14 TEL.0277-74-2340
営業日 毎週土曜日 12:00～15:00
売り切れ次第終了
※前日までに電話予約をすると確実に受け取る。

詳しくはこちら!



伊勢崎店 (伊勢崎市東町2694-6)もあり、
金・土曜日のみ営業。TEL.0270-63-6421



2,000坪という広大な敷地には山羊や羊も。

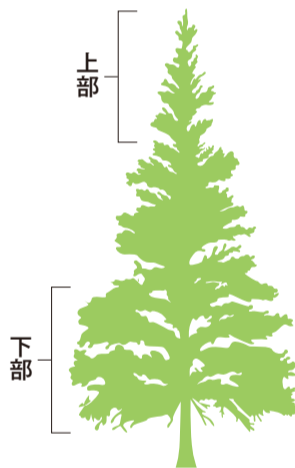


16年程前、北海道でパン職人の経験として修業した際、スイス人との出会いでハード系のパンのおいしさのとりこに。さらに、日本最大手の製粉会社の開発のトップからパンづくりのノウハウを余すところなく学んだという。

赤城山環境ガイドボランティアがそっと教える

デンさんのてんでいい話。

『植物の頭脳プレー』に想いを馳せる



も楽しいかもしれませんね。落葉樹の葉では、黄葉から紅葉へと変化し、落葉を開始します。それは長く厳しい冬への準備みたいなものなんです。

しかし、何故、木々って落葉するのでしょうか？フシギですよ。木(木本)の立場になって考えてみると… ●葉がたくさん付いていると雪や、強風で倒れてしまうと思ったり。●表面積を少なくし、葉から水分の蒸発を極力抑え乾燥に耐えられる様にしたりなど。

木々は一度その場所に生えたら動く事はできないので、いろんな知恵を持っています。赤城神社が御神木としている「ウラジロモミ」でも、その利口さがわかります。左下の写真や上の図を見てください。

木にとっては水ってなくてはならないモノ、欲しくても歩いて探し求めるわけにはいきませんよね。だから次の技を發揮します。「ウラジロモミ」の上部の枝をご覧ください。雨が降ったら少しでも自分の体に取り込める様に天を向いているのです。ところが下部の枝は左右水平に広げて、倒れない様にバランスを保ち、枝同士は、太陽の光を十分浴びることができるようになり重なり合わず、またぶつからず生えています。

もともと植物って、人類が地球上に誕生するより遥か昔に、海から徐々に地球環境に適応して陸に上がってきたとか聞いていますが、適応能力に長けているんですね。他にもいろいろ技を持っているようですから、みなさんも調べてみてください。ではまた！



赤城自然塾 環境ガイドボランティア デンさん

赤城の山頂カルデラでは、10月に入ると“立田姫”が麓に舞い降りる準備を開始します。

ここで言う“立田姫”とは紅葉前線のことです。今回はみなさんのご家庭の庭にもあると思いますが、カエデの話から植物の神秘について語りしたいと思います。日本には約37種類のカエデがあると言われていて、その種類はヤマモミジ、イロハモミジ、オオモミジ、ハウチワカエデ…名前を挙げたらキリがないので、それはスマホに譲るとします。“カエデ？モミジ？”どちらの名前が正しいのでしょうか。

その昔ペニバナから赤い染料をもみだした、動詞の「もみずる」から転じて、紅葉(黄葉)する植物をそのように呼ぶようになったともいわれています(諸説あり)、植物学では総称して「カエデ」が正解です。大沼湖畔を散策しているとよく出会うのがカジカエデ(おもに黄葉)、ウリハダカエデ(黄色から真っ赤に)、オニタヤ(黄葉が鮮やか)などです。

黒檜山頂に向かって行くとオオイトヤメイゲツ(葉柄が特に長い)、ハウチワカエデ(葉柄が短い)、山頂付近ではコミネカエデが多くなります。

みなさん、スマホ片手に何種類のカエデと出合えるか数えながら“秋の山頂カルデラ”を散策するの



大沼湖畔のウラジロモミ

新メンバーのご紹介

AKAGIFT 編集委員

ずっと身近に思っている赤城山ですが、
まだまだ発見がたくさん！
赤城山と赤城山で過ごす時間、
そこで出会う人たちが好きです。

しのぶ



赤城山ツーリズム地元推進協議会

NPO法人 赤城自然塾

観光庁 日本版DMO登録法人



〒371-0231 群馬県前橋市堀越町1115 前橋市大胡支所内

TEL 027-212-2611 FAX 027-212-2691

http://www.akagi-trip.com

information

AKAGIFT

×



AKAGIFTはクチコミサイト「ぐんラボ!」とコラボし、スポットの最新情報やクチコミをチェックできるようになりました! お出かけの際は各QRコードに、ぜひアクセスしてみてくださいね!